



#amazingmogami

新庄まつりを核とした最上地域広域周遊ルート開発事業報告会を開催しました



最上総合支庁では、管内への外国人旅行者の誘客・滞在を誘導するため、今年度、ユネスコ無形文化遺産に登録された「新庄まつり」を核とした周遊ルートの開発を市町村一緒になって進めてきました。開発にあたり、5回の検討会を開催し、先進的な取り組みや効果的な情報発信について市町村とともに研さんに励みました。

2月21日（水）に開催した報告会では、これまでの検討会を総括するとともに、開発した周遊ルート（案）が報告されました。

周遊ルートは、新庄まつりを軸に祭りや文化、風習、景観、食など最上地域の“AMAZING”（＝驚きの、驚愕すべき）な「暮らしぶり」を魅力的に写真で伝えるものとして、海外での現地ヒアリングなども実施しながら外国人観光客の目線で作り上げたものです。今後、完成したパンフレットを活用し、最上地域の魅力を全世界へ発信し外国人の誘客を推進してまいります。



新庄まつりと吉村知事

観光振興室 29-1311



しごとセミナー～地元企業で働く若手社員のパネルディスカッション～を開催しました

2月15日（木）、新庄市民プラザを会場に、高校2年生を対象とした企業説明会が開催され、地元企業で働く若手社員によるパネルディスカッションが行われました。（株）スリーエム、(有)カイセイカンパニー、山形航空電子(株)で働く若手社員から、地元就職のきっかけや仕事のやりがい、地元就

職のメリット・デメリット等を話してもらいました。参加者からは、スマートフォンを通じて、「仕事で辛かったことは？」などたくさんの質問が寄せられました。セミナー後、「進路に関する意識が高まった」「セミナーで学んだことを活かし、これからの将来を考えていきたい」といった仕事に対する意識の変化が見られました。



地域産業経済課 29-1309



高校生の保護者進路セミナー「高校生の進路選択～親が子どもにできること～」

2月17日（土）、新庄市の「ゆめりあ」を会場に、新庄南高等学校と連携し、1年生の保護者を対象に進路セミナーを開催しました。山形大学の松坂暢浩准教授を講師に、進路選択に関する現状や課題、子どもへの接し方のポイントなどを説明してもらいました。また、地元就職した卒業生2名を交えたトークセッションでは、地元就職した理由や、情報収集の方法、就職にあたっての家族との関わりなどを話してもらいました。

保護者からは、「子どもと進路を話し合うきっかけとして、地元就職を選択のひとつとして、考える機会になってよかった」との感想がありました。

地域産業経済課 29-1309



「モガミの町火消し達」展in大蔵 ギャラリートークが開催されました



2月7日(水)から同月19日(月)まで大蔵村中央公民館で、新庄市在住の写真家・松田高明さんの写真展「モガミの町火消し達」展 in 大蔵が開催され、期間中の2月12日(月)には写真展関係者によるギャラリートークを開催し、多くの方に参加いただきました。

写真展主催者の一人である工学院大学理事長・後藤治さんを中心に、文化財的価値のある最上地域の消防小屋の魅力や、松田さんの3年に渡り撮影を行った際の地元消防団とのエピソードなどのトークが繰り広げられました。また、工学院大学の学生からは、実際に解体した消防小屋を居酒屋や民宿に再築する活用方法を、模型を作成し、ユニークな提案なども行われました。

写真展は現在最上の各市町村で展開中であり、これを機会に地元消防団と地域の活性化、そして地域振興につながることを期待します。 総務課防災安全室 29-1209



平成29年度最上地域乳質改善共励会・肉用子牛出荷共励会表彰式 並びに畜産経営担い手セミナーを開催しました

2月7日(水)、新庄市の「大地会館」を会場に平成29年度最上地域乳質改善共励会・肉用子牛出荷共励会表彰式並びに畜産経営担い手セミナーを開催しました。

表彰式では、乳質改善共励会(2部門)の入賞者6名、肉用子牛出荷共励会(3部門)の入賞者9名に賞状・副賞が授与されるとともに、肉用子牛出荷共励会第1部(10頭以上出荷)1位の今田義徳さん(新庄市)には山形県知事賞が、各部門1位の4名には最上総合支庁賞が贈られました。引き続き行われたセミナーでは、秋田県の「羽後和牛さとう」の佐藤弘代表から、「豪雪地帯における和牛生産一貫経営を目指す」と題して講演



してもらい、またNOSA I山形最上家畜診療所から、「代謝プロファイルテストを用いた繁殖指導」について情報を提供してもらいました。今回の共励会表彰式並びにセミナーが経営改善のヒントとなり、生産性の向上に繋がることを願っております。

農業振興課 29-1061



野菜・山菜セミナーを開催しました

2月28日(水)、最新の研究成果を生産現場へいち早く伝えるため、産地研究室においてセミナーを開催しました。「10年以上栽培したアスパラガスの改植方法」、「タラノキ新品種「春かおり」に適した栽培・促成方法」など、生産者がすぐに活用できる内容が中心で、約70名の出席の中、活発な質疑応答がなされました。

産地研究室では、今後とも産地の課題を解決するための試験研究に取り組んでまいります。

産地研究室 22-2201



促成山菜の集荷盛期

最上地域は、県内の促成山菜生産量の半分以上を占める、日本一といえる促成山菜の産地であり、その中心が「たらの芽」です。

「たらの芽」の促成作業は、11月上旬から伏せ込みが始まり、12月初旬から出荷を開始しました。出荷盛期は3月から4月頃と見込まれ、5月上旬まで出荷が続きます。

例年以上の降雪と低温が続いていますが、気象変動に対応した栽培講習会を各地区で開催しているほか、市場関係者を交えた出荷目揃い会も開催し、高品質な「たらの芽」の安定出荷に向け、関係機関が一体となって生産者を支援しています。

また、「たらの芽」では、産地研究室が開発した新品種「春かおり」に注目が集まっています。「春かおり」の特徴は、穂木のトゲが少ないため作業性が良く、収穫する促成芽の形状が大きいことから収量性に優れていることです。農業技術普及課では、管内3ヶ所に株養成と促成管理に関する現地実証圃を設置し、「春かおり」の普及拡大に向けた支援を行っています。

農業技術普及課 29-1328



「第5回もがみ地域材利活用研究会」

林業・木材産業等が連携し地域材の利活用を進めるため、2月8日（木）に地域内の大型木造建築物を見学しながら検討会を開催しました。



今年度ウッドデザイン賞を受賞した新庄市の『英照院』は、大工職人の伝統の技による「平成のお寺」をコンセプトに施工されました。

やまがた景観賞の県知事賞を受賞した金山町の『認定こども園めぐたま』は二百年超えの金山杉を使って建てられました。



今回紹介した大型木造建築物によって木の良さを発信することにより、木造建築技術の継承や管内のスギ良質材の利用拡大が期待されます。

森林整備課 29-1351

農業経営力向上研修会を開催しました ～中山間地域でも儲かる農業を～

農業のトップランナー育成や経営企画力の向上などのため、「平成29年度農業経営力向上研修会」が、県立農林大学校・緑風館で開催され、最上地域の農家や市町村等関係者ら約60名が参加しました。講師の奥山享税理士からは、儲かる農業を实践する経営者のあり方についての講演、株式会社和農日向（酒田市）の阿曾千一さんからは、中山間地域農業と農地を守り、“耕畜連携”を中核とした所得向上を目指している事例発表がありました。

中山間地域でも農業で儲けるための経営者としての心構え、経営企画のあり方を学ぶ有意義な研修会となりました。

農業振興課
29-1319



第30回もがみイブニングサロンを開催

2月22日（木）、新庄市の「ニューグランドホテル新庄」で「もがみイブニングサロン」を開催しました。今回は、「木材による自社ブランドの確立」をテーマに、自社の金属加工技術を活用して県産木材のブロック玩具「もくロック」を開発・販売している㈱ニューテックシンセイ（米沢市）、自社技術で特許を取得したペン先を用いて高級万年筆を開発した㈱秋田研磨工業（秋田県）、木材による快適で機能的な住空間を提供している㈱ヤマムラ（新庄市）の3社から事例を発表してもらいました。

続いての交流会では、参加者同士が最上に豊富にある木材の活用について情報交換を行いました。

地域産業経済課 29-1309



最上地域の若手女性農業者の交流会 「あぐりカフェセミナー」を開催！

2月20日（火）に、今年度2回目の「あぐりカフェセミナー」を新庄市の「ニューグランドホテル新庄」で開催しました。このセミナーは若手女性農業者の経営参画や仲間づくりを支援するために開催しており、今回は「農業における労務管理」をテーマに、社会保険労務士の鈴木大輔さん（すずき労務経営コンサルタント）より、労働基準法や雇用する際のポイントについてわかりやすく説明してもらいました。経営安定のために雇用を活用、または計画している参加者も多く、大変参考になった等の声が多く出されました。

その後、ランチを食べながら、日頃の想いや悩み、今後の計画等についてフリートークを行い、参加者同士の交流を深めました。

当課では、今後もセミナーを通し、若手女性農業者のさらなる活躍と経営発展に向けて引き続き支援していきます。



農業技術普及課 29-1329

お知らせ

県立新庄病院改築整備基本計画（案）への意見募集について

県立新庄病院の改築整備に向けた基本計画（案）について、皆様からのご意見を募集（パブリックコメント）しております。

【意見募集期間】平成30年3月19日（月）まで

【意見の提出先】県病院事業局県立病院課

【資料閲覧方法】県ホームページ、総合支庁総合案内窓口、県立新庄病院総務課

保健企画課 29-1256

「看護師育成最上地域修学資金」平成30年度修学生募集について

各市町村で実施している「看護師育成最上地域修学資金」について、平成30年度の修学生を募集します。

【申込期間】平成30年4月2日（月）から5月11日（金）まで

※詳しくは各市町村にお問い合わせください。

保健企画課 29-1256

「3月は自殺対策強化月間です」

最上地域は、県内で最も自殺死亡率が高い地域です。最上保健所では啓発グッズの配布など普及啓発をしています。皆さんの周りに悩んでいる人はいませんか？「元気ないけど、大丈夫？」「どうしたの？なんだか辛そうだけど…」勇気を出して声をかけてみませんか？皆さんの一言が、悩んでいる人の孤立を防ぎ、安心を与えます。

地域保健福祉課 29-1266

もがみ雛めぐり 2018

最上地方の雛まつりは、雪がとけて春を感じられるひと月遅れの4月3日（火）に行われます。山形県内各地に伝わるお雛様は、江戸時代、最上川舟運によってもたらされたと言われており、最上地域にも享保雛や古今雛など数多くのお雛様が受け継がれています。

このたび、最上地域各地で行われる雛展示の情報を掲載した「もがみ雛めぐり」を発行し、もがみ情報案内センターや、最上地域の観光協会などに備え付けました。なかでも、新庄ふるさと歴史センターでは一足早く2月17日（土）から4月8日（日）まで「第35回新庄のひなまつり展」を開催中です。高さ70cmの国内最大級の享保雛や新庄藩戸沢家ゆかりの島津家家紋入り雛道具など約1500点が展示されており見どころ満載です。春の最上地域にお雛様を見にぜひお越しください！

「もがみ雛めぐりチラシ」は最上地域観光協議会のホームページでもご覧いただけます。

<http://kanko-mogami.jp/>

観光振興室 29-1312



発行日：平成30年3月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)でもご覧いただけます。

